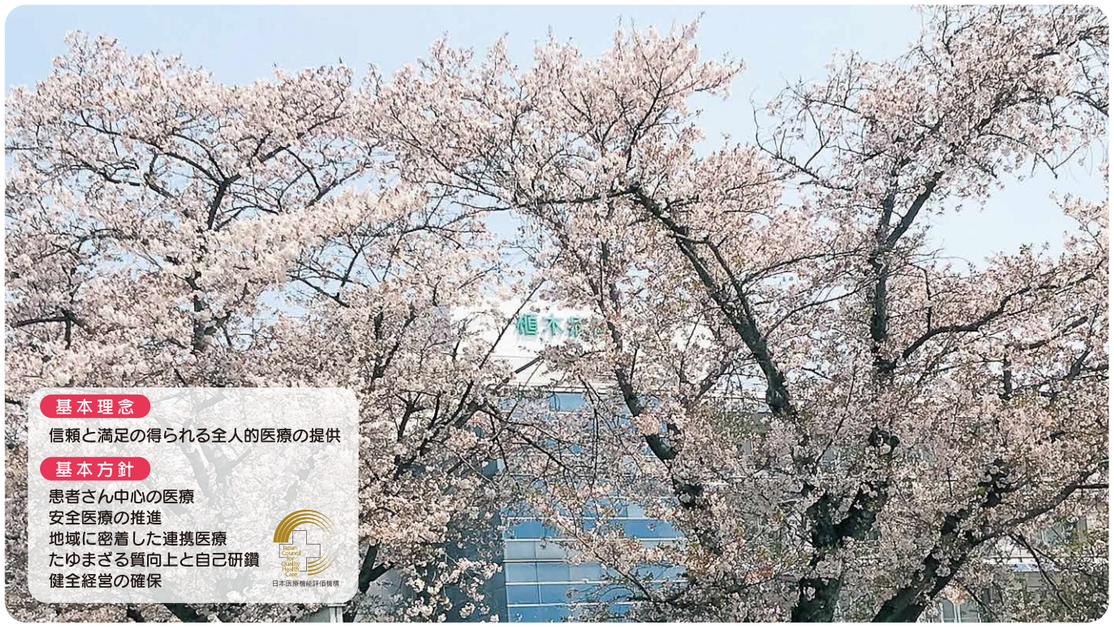
# 植木病院だより

Vol.30
平成31年4月

発行所 〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117
熊本市立 植木病院
発行人 掃本誠治






平成31年4月1日付で熊本市立植木病院長を拝命しました掃本誠治でございます。
地域住民、医療機関の皆さまには、日頃より当院にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

一般診療はもとより、救急医療、予防医療を含めた包括的、一体的なシステムのもと地域住民、近隣医療機関の皆さまに信頼されご満足いただける全人的医療の提供を目指し全職員日々努力し、熊本市との合併から9年が経過致しました。

これまでの、**①患者さん中心の医療、②安全医療の推進、③地域に密着した連携医療、④たゆまざる質向上と自己研鑽、⑤健全運営の確保**の5つの基本方針を踏襲し、熊本市北部地域に求められる医療ニーズを適格に判断し、熊本市民病院（平成31年10月再開）や熊本大学病院をはじめ高度専門病院に紹介すべき症例と当院で対応可能な症例を常に念頭におきながら、かかりつけ医、当院、高度専門病院の三位一体の医療連携推進に、住民の皆さまの生命と健康を守る公立の自治体病院として全職員一丸となって取り組んでいく所存でございます。

具体的には、わたくしの他にも外科2名、整形外科2名の新しく4名の医師が加わりました（1名は10月までの熊本市民病院所属）。外科の本田志延先生は地域医療センターで多くの手術を施行され、川田康誠先生は再春荘病院から異動となりこれまで以上に外科症例への対応が可能となりました。また高齢者の骨折等を含めまして整形外科的疾患は増加しており可能な症例は当院で手術できる体制を整えるため、橋本憲蔵先生、酒本高志先生（10月までの熊本市民病院所属）に赴任頂き、医療機器の一括管理等のため臨床工学技士の池田浩人MEは市民病院から異動となりました。事務職の方々も新規・転入の異動があり病院事業は特殊で異質なものに映るかもしれませんが、古閑事務局長さんのもと頑張って頂けると期待しております。

また木下千枝新看護部長となり（医療安全対策室看護師長から昇格）、これまで同様患者さんの思いに傾聴し、寄り添い、多様性を受け入れる看護を継続し、熊本市病院事業管理者の指導のもと医療職、事務職のすべての職員が、“可能な症例は植木で”の思いを基本にして、当院はこれまで以上に地域に必要とされ貢献できる医療機関として新たなステージに進みたいと存じます。

地域住民、近隣医療機関の皆さまに頼りにされる病院を職員一丸となって目指しますので、今後とも皆さまのご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、これまで当院の発展に尽力されてこられました内野良仁前院長先生はじめご退職・ご異動なされた事務職、医療職の皆さまの今後のご多幸とご活躍をお祈り致します。

病院長　掃本 誠治



## 外来診療のご案内

（2019年4月5日現在）

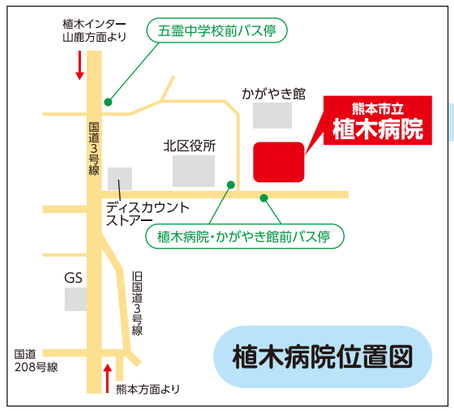
| | | 診察室 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 内科① | 豊田　直以 | 三原　通晴 | 三原　通晴 | 豊田　直以 | 三原　通晴 |
| | | 内科② | 熊大病院代謝内科 | 一森　伸二 | 一森　伸二 | 一森　伸二 | |
| | | 内科④ | | | 熊大病院循環器科 | | 熊大病院呼吸器科 |
| | 午後 | 外科処置室 | | | | フットケア（一森） | |
| 循環器内科 | 午前 | 循環器内科 | 廣田　晋一 | 廣田　晋一 | 掃本　誠治 | 廣田　晋一 | 熊大病院 |
| | 午後 | 診察室② | ペースメーカー外来(年2回) | 廣田（2W1回） | | | |
| 整形外科 | 午前 | 整形① | 紫垣　光久 | 紫垣　光久 | 紫垣　光久 | 紫垣　光久 | 酒本　高志 |
| | | 整形② | | 橋本　憲蔵 | | 酒本　高志 | 橋本　憲蔵 |
| 外科 | 午前 | 外科① | 本田　志延 | 川田　康誠 | 本田　志延 | 川田　康誠 | 本田　志延 |
| 脳神経外科 | 午前 | 診察室② | 吉里　公夫 | 吉里　公夫 | | 吉里　公夫 | 吉里　公夫 |
| 呼吸器内科 | 午前 | 診察室② | | | 熊大病院 | | 熊大病院（内科④） |
| 健診科 | 午前 | 健診科診察室 | 鶴本　泰之 | 鶴本　泰之 | 鶴本　泰之 | 掃本　誠治 | 鶴本　泰之 |
| 上部消化管内視鏡検査（GS） | 午前 | 内視鏡室 | 川田　康誠 | 豊田　直以 | 豊田　直以 | 三原　通晴 | 木庭（不在時豊田） |
| 下部消化管内視鏡検査（CS） | 午後 | 内視鏡室 | 三原　通晴 | 豊田　直以 | 豊田　直以 | 三原　通晴 | 施行医予約 |
| 超音波（エコー） | 午前 | エコー室 | 技師 | 技師 | 技師 | 技師 | 技師 |

**診察受付時間**：平　日／ 8：30～11：30
14：00～16：00
**休　診　日**：土曜日・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※ 急患の方はこれに限らず24時間対応致します。

## 地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
電話：TEL096-273-2111（代表）
FAX096-272-2117（代表）




## 交通アクセス

**路線バス**　九州産交バス：北区役所・小野泉水　行
熊本電鉄バス：北区役所　行
いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

**循環バス**　ゆうゆうバス植木循環ルート
「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

**乗用車**
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道 北熊本スマートインターから5分
植木インターから10分

## 編集後記

新しい元号が令和と発表されました。
万葉集からの「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、・・・」から採用されたとのことでした。とても響きの良く、穏やかな情景を思い浮かびますし、なによりも心が落ち着く気持ちになるのはわたくしだけでしょうか。
病院では患者さまの生命をあずかっており緊張の連続かもしれませんが、穏やかで優しい気持ちで接していければと思います。

# 新任医師・メディカルスタッフ紹介



看護部長
木下　千枝

春風のさわやかな季節を迎え皆様には健やかにお過ごしのことと存じます。今年度より看護部長に就任いたしました木下千枝と申します。

私事で恐縮ですが、当院には高度急性期病院の勤務を経て、平成14年に入職いたしました。平成27年に、医療安全対策室の立ち上げと共に専従の医療安全管理者となり、試行錯誤しながら対象の方々に「安心・安全な医療を提供すること」を念頭に活動してまいりました。院内を組織横断的に活動する医療安全管理者としての経験は、看護部以外の部署の体制や課題を肌で感じる良い機会となる一方、課題を解決するまでの組織間調整の困難さも実感することができました。

当院の看護部理念である「継続的で責任ある看護の提供」には、患者さんやご家族と院内外の様々な職種が連携するチーム医療が不可欠となります。患者さんと接する機会が最も多い看護師が、専門的な知識や技術、円滑なコミュニケーションスキルで患者さんの状態や思いを的確にチームに伝え、協働して課題解決にいたるよう顔の見えるチーム医療を推進してまいります。チームのコアメンバーとして役割を発揮できる看護師の育成に重点をおき、信頼と満足の得られる看護が提供できますよう誠心誠意尽力いたします。

新年度からは、新しく着任された掃本院長や外科医師の交代、整形外科医師の増員などにより、より充実した診療体制となります。これからも地域の親しみやすい病院として努力を重ねてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。



外科部長
本田　志延

皆さまこんにちは。4月から植木病院外科に赴任いたしました本田志延(しのぶ)です。前職場は熊本地域医療センターで、年間800件超の手術を6-7人でやっておりました。消化器外科、一般外科だけでなく、自分は肺の手術も必要に応じて担当しておりました。

ところで、今年は秋から冬にかけて、熊本で2つの国際スポーツイベントが行われ、私も医療スタッフとして出務予定です。ラグビーワールドカップでは、組織委員会より熊本地域エリアメディカルオフィサー(AMO)の役割を任命されており、大きなプレッシャーはありますが、大会の成功に向けて頑張りたいと思っています。女子ハンドボール世界選手権大会では山鹿地区の10試合で医療スタッフとして出務することになりそうです。ラグビーワールドカップは、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ規模の世界的なスポーツイベントで、世界中からサポーターが訪れます。皆さんにも是非生で観戦されて雰囲気を味わっていただきたいと思っております。えがお健康スタジアムでの2試合だけではなく、大会期間中は花畑広場をはじめ多くのイベントも予定されています。ピッチ内の医療だけではなく、そのような場での救護体制や緊急時の後方支援や動線なども今後詰めていかなければなりません。

現在は東区に住んでいますが、実家は北区にあり、植木病院に関しては、熊本市北部地域及び県北の総合医療センター的な役割を今後担っていくものと期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



外科医長
川田　康誠

皆さんはじめまして。

四月より外科で勤務することとなりました川田康誠と申します。自己紹介ということで、私は生まれも育ちも熊本ではありますが、植木周辺のことは全く知りません。そのため、これから病院のことと一緒に町のことも知っていきたいと思っています。

私の趣味は町歩き、食べ歩き、美術・音楽鑑賞です。学生時代は大学の時から始めたバイオリンを演奏していましたが、卒業してからはなかなか時間がなく、ほとんど楽器に触れていないので、今は聴くのが専門です。聴きたい演奏会があるときは、遠くでも聴きに行くことがあります。そのときにその街を歩いて、その土地のものを食べるのが、自分のリフレッシュ法のひとつです。

今年で医師として17年目となります。考えてみると長い年月でありましたが、速かったようにも感じます。これまでの経験を活かして、地域の医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



整形外科
橋本　憲蔵

4月より整形外科に就任しました橋本憲蔵と申します。今まで当院では、整形外科手術を行っていませんでしたが、外傷患者様の救急車の受け入れを開始し、整形外科手術を行わせていただきたく存じます。当院周辺では、手術を行っている病院が少なく、不慮の事故等で自宅から離れた病院での手術を余儀なくされた患者様も多いのではないかと考えます。特に高齢化社会に伴い、高齢者の大腿骨近位端骨折が増加する時代でもあり、ご高齢者が自宅から離れた急性期病院で手術をすることになれば、ご家族の負担も大きくなるのではと考え、当院で手術できるような環境を整備しています。怪我は無いほうが好ましいですが、万が一の際には、当院を受診して頂けると幸いに存じます。合併症や経過などを丁寧な説明を心がけて毎日診療したいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科
酒本　高志

この度、公立玉名中央病院より異動して参りました整形外科の酒本高志と申します。これまで骨折など外傷を中心に診療に携わってまいりました。4月より植木病院整形外科は3人体制となったため、休止していた整形外科手術の再開を行う方針としており、これまでの経験を生かして植木地域の医療に少しでも多く貢献できるよう努めて参りたいと思います。熊本市立熊本市民病院所属で新病院開院までの半年間勤務の予定ではありますが、何卒よろしくお願い致します。



臨床工学技士
池田　浩人

この度、熊本市民病院より異動して参りました、臨床工学技士の池田浩人と申します。現代医療には医療機器が欠かせないものとなっています。技術の進歩でその医療機器の高度化・複雑化が一層進み、医療機器の適正な操作や保守管理に関し、医療法・医薬品医療機器法等の改正もなされています。臨床工学技士は、そのような生命維持管理装置の操作や各医療機器の保守・点検・使用方法の管理を行うことで、医療機器の安全確保や有効性維持に関わる医療機器の専門職です。

当植木病院でも今年度から臨床工学技士を採用していただきました。医療機器専門職として今まで以上に安全医療の推進に貢献したいと考えております。

医療事故の無いように安全に心がけ、他職種の医療従事者の方々と協力し患者さんへのサービスに専念していく所存ですので何卒よろしくお願い致します。

